

プログラム 発表者等紹介

プログラム

第1部「太平洋戦争における戦略と情報」(10:00 - 13:00)

基調講演

ジョン・フェリス (カナダ・カルガリー大学教授)
「シグナル・インテリジェンスと日本の安全保障」

セッション

森山 優 (静岡県立大学教授)
「日本の南進とインテリジェンス、1941年」

清水 亮太郎 (防衛研究所主任研究官)
「日本降伏とアメリカ情報機関——ヤルタ密約をめぐる国際情報戦」

岩谷 将 (北海道大学教授)
「蒋介石と日米開戦——情報と戦略」

総合討議

第2部「情報・政治・世界戦争」(15:00 - 18:00)

特別講演

三浦 瑠麗 (山猫総合研究所代表)
「安全保障のリスクコミュニケーションと世論形成はどうあるべきか」

セッション

ヒュー・ストローン (英国セントアンドリュース大学教授)
「第一次世界大戦における戦略とインテリジェンス」

ブライアン・P・ファレル (シンガポール国立大学教授)
「大戦略におけるインテリジェンスをめぐる政治——合同情報委員会と英国の対日戦争 1942-45」

春名 幹男 (元名古屋大学教授)
「冷戦期における米国インテリジェンスの発展」

総合討議

発表者等紹介

議長

石津 朋之

現職*：防衛研究所戦史研究センター長

略歴：修士（ロンドン大学キングズ・カレッジ）

主要著書等：

『リデルハート一戦略家の生涯とリベラルな戦争観』（中公文庫、2020年）；『戦争学原論』（筑摩書房、2013年）；『大戦略の哲人たち』（日本経済新聞出版社、2013年）

* フォーラム開催時

発表者（敬称略、発表順）

ジョン・フェリス

現職：カナダ・カルガリー大学教授

略歴：博士（ロンドン大学キングズ・カレッジ）

主要著書等：

Behind the Enigma: The Authorized History of GCHQ, Britain's Secret Cyber-Intelligence Agency (Bloomsbury, 2020); *The Cambridge History of the Second World War: Volume I, Fighting the War* (Co-editor) (Cambridge University Press, 2015); *The Evolution of British Strategic Policy, 1919-1926* (University of Cornell Press, 1988)

森山 優

現職：静岡県立大学教授

略歴：博士（九州大学）

主要著書等：

『日米開戦と情報戦』（講談社、2016年）；『日本はなぜ開戦に踏み切ったか—「両論併記」と「非決定」』（新潮社、2012年）；『日米開戦の政治過程』（吉川弘文館、1998年）

清水 亮太郎

現職：防衛研究所主任研究官

略歴：早稲田大学卒業

主要著書等：

Japan and Germany: The Experiences in the 20th Century, NIDS-ZMSBw Joint Research Project 2019-2021 (Co-author) (NIDS, 2022); “Impacts of Manchurian Incident in the Global Context,” *Local Wars, Global Impacts* (Bulgarian Commission of Military History, 2018)

岩谷 將

現職：北海道大学教授

略歴：博士（慶應義塾大学）

主要著書等：

『盧溝橋事件から日中戦争へ』（東京大学出版会、2023年）；『日中戦争と中ソ関係—1937年ソ連外交文書邦訳・解題・解説』（共編著）（東京大学出版会、2018年）；『対立と共存の歴史認識—日中関係150年』（共著）（東京大学出版会、2013年）

三浦 瑠麗

現職：山猫総合研究所代表

略歴：博士（東京大学）

主要著書等：

『21世紀の戦争と平和—徴兵制はなぜ再び必要とされているのか』（新潮社、2019年）；『シビリアンの戦争—デモクラシーが攻撃的になるとき』（岩波書店、2012年）；『戦略原論—軍事と平和のグランド・ストラテジー』（共著）（日本経済新聞出版社、2010年）

ヒュー・ストローク

現職：英国セントアンドリュース大学教授

略歴：博士（ケンブリッジ大学）

主要著書等：

The Direction of War: Contemporary Strategy in Historical Perspective (Cambridge University Press, 2013); *The Changing Character of War* (co-editor) (Oxford University Press, 2011); *Clausewitz's 'On War': A Biography* (Atlantic Books, 2007)

ブライアン・P・ファレル

現職：シンガポール国立大学教授

略歴：博士（マギル大学）

主要著書等：

Empire in Asia: A New Global History, 2 vols. (Co-Editor) (Bloomsbury Academic, 2018); *The Defence and Fall of Singapore, 1940-1942* (Tempus, 2005); *The Basis and Making of British Grand Strategy, 1940-1943: Was There a Plan?* (Edwin Mellen Press, 1998)

春名 幹男

現職：国際ジャーナリスト・元名古屋大学教授

略歴：大阪外国語大学卒業

主要著書等：

『ロッキード疑獄一角栄ヲ葬リ巨悪ヲ逃ス』（KADOKAWA、2020年）；『秘密のファイル—CIAの対日工作』（共同通信社、2000年）；『スクリーン音が消えた』（新潮社、1993年）

戦争と情報の歴史的考察

令和4年度戦争史研究国際フォーラム報告書

発行日 令和5年10月31日

編集・発行 防衛省防衛研究所

〒162-8808

東京都新宿区市谷本村町5-1

電話：03-3260-3011

FAX：03-3260-3034